

アジア太平洋地域インフラ担当大臣会合について

1. 目的と開催経緯

アジア太平洋地域インフラ担当大臣会合はアジア太平洋地域のインフラ担当大臣が一堂に会し、同地域のインフラ整備のあり方についてトップレベルで意見交換を行う会合(日本の建設省(当時)が提唱して会議を設置)。

平成17年1月25日に、第5回大臣会合をマレーシアで「インフラ整備と環境のバランス」をテーマに開催。

2. 開催日時と参加者

- ①第1回大臣会合(大阪) 平成7年9月26～28日
閣僚級 16ヶ国・地域 日本代表：森喜朗建設大臣
- ②第1回高級事務レベル会合(東京) 平成8年6月18～19日
- ③第2回高級事務レベル会合(サ・ンチアゴ) 平成9年5月26～27日
- ④第2回大臣会合(サ・ンチアゴ) 平成9年6月26～27日
閣僚級 16ヶ国・地域 日本代表：亀井静香建設大臣
- ⑤第3回高級事務レベル会合(香港) 平成11年1月5～8日
- ⑥第3回大臣会合(香港) 平成11年5月26～28日
閣僚級 15ヶ国・地域 日本代表：遠藤政務次官
- ⑦第4回高級事務レベル会合(東京) 平成14年10月16～17日
- ⑧専門家会合(インドネシア・ジャカルタ) 平成15年8月22日～23日
- ⑨第5回高級事務レベル会合(インドネシア・バリ) 平成15年10月13日
- ⑩第4回大臣会合(インドネシア・バリ) 平成15年10月14日
閣僚級 14ヶ国・地域 日本代表：齋藤政務官
- ⑪専門家会合(マレーシア・ランカウイ) 平成16年11月29日～30日
- ⑫第6回高級事務レベル会合(マレーシア・プトラジャヤ) 平成17年1月24日
- ⑬第5回大臣会合(マレーシア・プトラジャヤ) 平成17年1月25日
閣僚級 13ヶ国 日本代表：蓮実国土交通副大臣

3. 本会議の構成国・地域(20ヶ国・地域)

オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、中国、コロンビア、香港、インドネシア、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、韓国、シンガポール、タイ、米国、ベトナム